

活動プログラム	No.26 キャンプファイヤー		
期待される効果	 コミュニケーション		
プログラム概要	火を囲んで、それぞれの想いを語り合ったり、歌を歌ったり、思い出をふりかえる時間を持ちます。スタンプ等仲間と協力して一つのモノを作り上げる喜びを知り、また原始的で素朴な自然である火が持つ神秘的な魅力を感じることができます。		
対象	誰でも	人数	キャンプ場 80人・星空広場 50人 多目的広場 制限なし
時期	通年	場所	キャンプ場・星空広場 多目的広場
金額	教材申込書参照	大人の人数	特になし

準備物	団体ごと	救急バッグ、ライター、新聞紙等焚付け キャンプファイヤーで使用するもの(トーチ棒使用の際は古雑巾、タオルをご準備ください)
	服装 個人装備	火に強い綿素材の服がオススメです ナイロン製の服などは火の粉で穴があきます
美方高原で購入 レンタル可能な物		販売：薪、トーチ棒、灯油 レンタル：アンプ、バケツ、火ばさみ、掃除用具、CDラジカセ、アンプ、延長コード

活動のタイムスケジュール (例)

時間	運営	安全上のポイント
18:30	薪組み、準備 (15~30分程度要します) 玄関前集合	開始までに、トーチ棒づくり、薪組みの時間を設けてください
18:40	諸注意 入場	足元が暗いためゆっくり歩くか照明をつける トーチの持ち方をレクチャーしておく 風上から点火
18:50	点火	灯油を絞ってから着火 子どもたちが火に近づきすぎない様注意
19:00	ゲームなど	遠くに離れすぎるとも注意
20:00	キャンプのふりかえりなど	足元が暗いためゆっくり歩くか照明をつける 想像以上に火が熱いため注意
20:15	終了 消火 燃えがらをさわっても熱くない状態 かたづけ (サイト、トーチ棒)	引率者が必ず完全消火する。 消火確認が必要なため、片付け終了後事務所へ連絡する

補足ポイント

- 事前の薪組やトーチ棒の準備が必要です。購入した備品やレンタル用品、実施場所は事務所まで。
- 終了後は灰捨て場で水をかけ、確実に消火をしてください。また燃えかけの薪はなるべく燃やしきって灰にしてください(炭や燃えかけの木は自然にかえりません)
- トーチ棒はタオルや針金を取り、針金は雑ゴミで捨ててください。棒は所定の場所に返却してください。

活動 プログラム	No.26	キャンプファイヤー
-------------	-------	-----------

予期されるリスク	リスクに対する対応
風による火の粉	近づきすぎない様注意喚起と、ファイヤーキーパーの配置と消火用バケツ設置
暗い夜道での転倒	懐中電灯などで足元を照らすよう注意
寒さ	夏場でも上着を一枚、春秋は防寒着を着てもらおう
トーチ棒での火傷	安全なトーチ棒の作成方法や、持ち方のレクチャーをしておく
ファイヤーキーパーの火傷や熱気の吸い込み	事前の注意と消火用水バケツの用意
その他のケガ、体調不良	救急バッグを携帯し、応急手当の準備をする。事前の体調調査、当日の確認を行い、バックアップ体制を整えておく。

事前点検・準備事項
指導者のスキルや経験の聞き取りをしたか。
薪、灯油、掃除用具等の準備をしたか。
多目的グラウンドのトタンと水量、星空広場の水量確認をしたか。
ファイヤー場が水たまりのようになっていないか。
場所の案内と使用上の注意事項を伝えたか。
片付けの方法を説明したか・
天候の情報を確認して、適切な対応をしたか。
参加者の年齢、人数、スタッフ数、体調面などの情報は入っているか。
運営方法や児童のスタント時間などタイムスケジュールは明確で共有されているか。
施設準備物は使用可能な状態か。または数は揃っているか。
参加者もしくは団体への持ち物の伝達は行ったか。

活動時のインストラクション（必須事項）
火は危険であること、近づきすぎないことを伝える。
トーチを持つときは、棒を下げると火が手元にきて危険である。また、振り回したりふざけたりしない様持ち方や点火方法、置き方をレクチャーする。
周囲が暗いため、走ったり人を押したりしない様伝える。
夜は気温が低くなるため、寒くない服装をさせる。